

トランプ言いなりで終わったアメリカ詣で 輸入品の値上がりまねく「関税」競争

米を探せ・物価値上げに無策な石破政権

1973年オイルショックの時はトイレ紙・洗剤などを大手商社が倉庫に隠し値上げりをまねきました。

現在、米が爆上げしています。「新米が出れば戻る」と言った、江藤拓 農林水産大臣。下がるどころか品不足で値上がりが続ぎ、やっと「政府備蓄米」をのろのろと放出するそうだ。こんな大臣すら更迭できない情けなさ。

マスクも週間文春も追究しない「誰が隠しているのか」「誰が儲けようとしているのか」いつの世の中も「悪」はいるようです。

庶民の暮らしは貧困を極めてきているのに、アメリカに行った石破総理は「政敵」であった安倍元総理の二番煎じ、トランプに「よいしょ」の持ち上げばかりで、ガザから住民を追い出しアメリカが所有するなどの暴言に一切批判をせず、日本製鉄による「USスチール」の買収計画すら拒否され「投資」と要求され、米国への輸出は大幅な関税を要求されています。関税で輸入品が上がり世界の物価がさらに上がることになります。

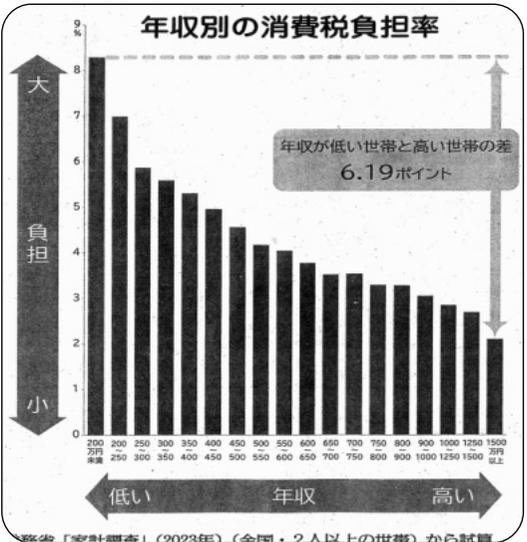
軍事費増額はきつちり約束。日本が米国の戦争の最前線で闘わされることを進め、自衛隊員をウクライナで闘わされている北朝鮮兵の二の舞にすることは許せません。

私たちは日本国憲法をいかした政治を求めます。権力者の好き放題させない「国民が主人公」の政治こそ国民が幸せに生きていける保障です。

そのための野党共闘ではありませんか「ゆ党」が伸びても政治は変わりません。



左の図は共産党の塩川議員が国会で消費税減税を求めて示した消費税の国民いじめです。所得が低い人は所得のほとんどを消費にあてるため負担額が大きいのです。政府は相変わらず「社会保障の財源だ」と強弁していますが消費税が上がっても社会保障は削減させるばかり。生計費に課税しないということをもっと求めていきたいと思います。



変わらないアメリカ従属

戦争反対 2月19日戦争法廃止宣伝

アメリカ言いなりで軍拡進める石破政権、集団的自衛権で日本をアメリカの戦争に引きずり込む、戦争法を廃止させましょう

2月19日(水)
午後5時〜5時30分
阪急桂駅西口

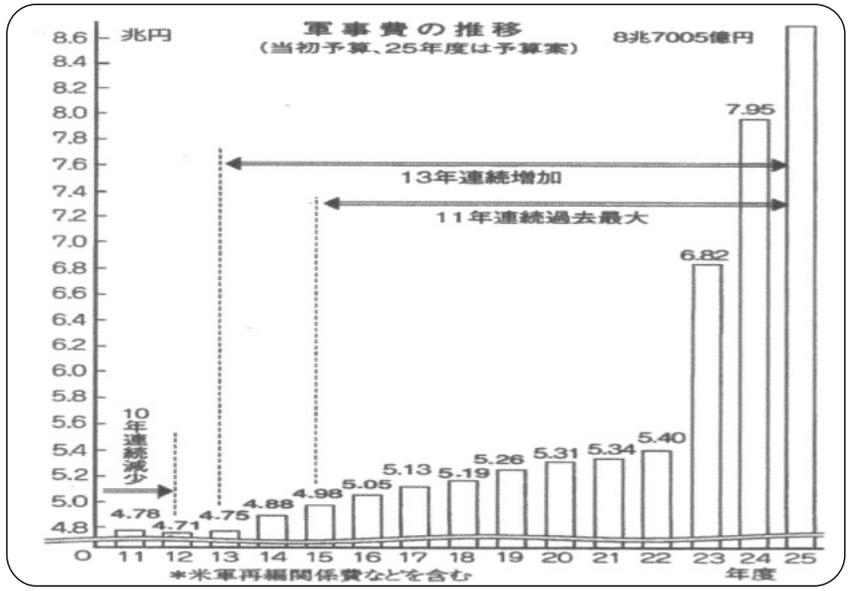
よびかけ
西京九条の会連絡会・洛西平和ネット
午後6時30分から市役所前で街頭演説とデモも行われます。

洛西生協前スタンディング
28日行動に参加を 28日お間違えなく
2月28日(金) 午後4時から4時30分
境谷本通 福西東通 生協角
主催 洛西平和ネット

洛西平和ネット
発行 2025年2月15日
事務局連絡先 TEL 090-7885-12430
◎大阪万博は中止して震災被災者救援に全力を挙げよ。

2025年度政府予算案

軍事費 8兆円超え 11年連続で過去最大を更新



FMS契約とは
アメリカの軍事企業から購入するので購入するのではなく米国政府から購入すること、価格が米国の「言い値」になり、日本は「ポンコツ」のオスプレイや旧式のトマホークを大量に高く購入しています。
敵基地攻撃能力を持つとして最近防衛より先制攻撃の武器を購入してしまふ。

